

諫早弦楽アンサンブル

第8回定期演奏会

■指揮
奥村一弘

■ヴァイオリン独奏
七沢清貴

〈神奈川フィルハーモニー管弦楽団コンサートマスター〉

モーツァルト
アイネ・クライネ・ナハト・ムジーク

バッハ
ヴァイオリン協奏曲 第2番 ホ長調

レスピーギ
リュートのための古代舞曲とアリア 第三組曲 他

6.20 (日)

14:00 開場
14:30 開演

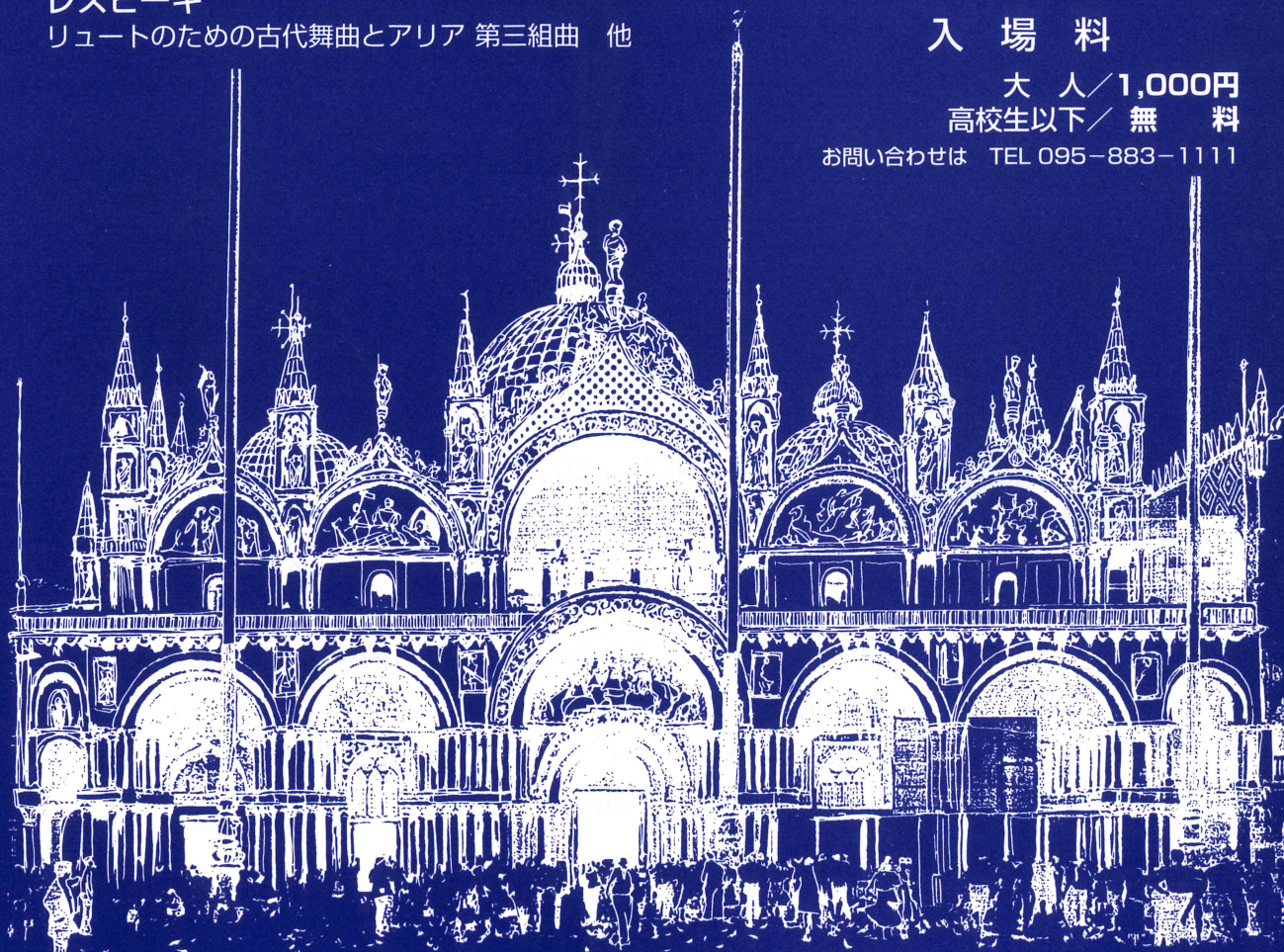
長与町民文化ホール

入場料

大人 / 1,000円

高校生以下 / 無料

お問い合わせは TEL 095-883-1111



主催 長与町教育委員会

奥村 一弘 (指揮)



諫早高校から武蔵野音楽大学へ進み、兎塚龍夫、篠崎弘嗣、多久興、中島方、清水勝雄、斉藤秀雄の諸氏に指導を受ける。東京フィルハーモニー交響楽団、東京弦楽団、宝塚オーケストラなどでチェリストとして活躍、帰郷後は九州交響楽団、広島交響楽団、長崎交響楽団などの客員奏者を努める。

1980年代には七沢清貴氏らと組んでアルテ・トリオを結成。1996年にはザルツブルグ・モーツアルテウム管弦楽団練習所にて練習などを視察。

独奏、室内楽で活躍するかたわら長崎、諫早、久留米、大牟田などで後進の指導にあたる。1994年5月から諫早弦楽アンサンブルの指導、指揮にあたる。

七沢 清貴 (ヴァイオリン)



昭和25年（1950）東京生まれ。幼少より父にヴァイオリンの手ほどきを受ける。6歳よりブロードス・アール氏、10歳よりルイ・グレラー氏に師事。1965年東京芸術大学付属音楽高校入学。多久興氏に師事。1968年東京芸術大学入学。1・2年を多久興氏に、3・4年を海野義雄氏に師事。1972年芸大を首席で卒業。読売新人演奏会に出演。同年7月渡欧、ジュネーブのロスタルコンクールに1位。以後マックス・ロスタル教授に師事。1974年～1977年スイスのビエール市立交響楽団にコンマスとして在籍。1977年～1979年パリで演奏会など開催。1980年帰国。

現在は神奈川フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスターとして活躍中。